

科目名： <b>社労士受験対策講座</b>		科目コード	EJ67
科目主査： <b>須田 美貴</b> 担当講師： <b>須田 美貴</b>		単位	2
		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
<p>2022年以降の社労士受験を検討している方、社労士試験に興味はあるけれど実務経験や予備知識が全くない方対象に、社労士試験に出題される10科目を、普段の生活やお仕事に結び付けてわかりやすくイメージできる易しい講座です。受験はまだ考えていない方も、働くうえで必要な法律の知識や、年金の仕組みを知ることで、トラブル防止になります。社労士の仕事がイメージしやすくなります。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	予備知識は必要ありません。		
テキスト	『うかる！社労士2021』富田 朗 監修、日本経済新聞出版社 ※テキストはスクーリング受講許可者に配布します。		
この科目の 到達目標	<p>①社会保険労務士の業務で扱う法律を、事例をもとにイメージしやすくなります。                  ②社労士受験の勉強を本格的に始める前に、学習内容がイメージしやすくなります。                  ③働くうえで知っておくべき法律や制度を学習できます。                  ④年金の制度の全体像を理解できます。</p>		
成績評価 の方法	授業態度を優先し、授業中の集中度合いによって評価します。最終試験は、一問一答形式問題(1問5点)を20問出題します。授業をきちんと聞いて復習をしっかりすること。		
事後学習	知識の定着のため、スクーリングで学習した内容を、人にアドバイスしてみるとよいでしょう。		
事後学習の 参考文献	『スピードマスター 1時間でわかるトラブルフリーな職場づくり』黒田 英雄・須田 美貴、技術評論社、2019年 『しつもん! 労務トラブル50』須田 美貴、中央経済社、2013年		
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			